

# ルワンダを通して、高校生が感じる課題

氏名： 森戸 隆文

学校名： 兵庫県立赤穂高等学校全日制課程

担当教科： 情報

実践教科： 情報

時間数： 12 時間

対象学年： 2年

人数： 235 人

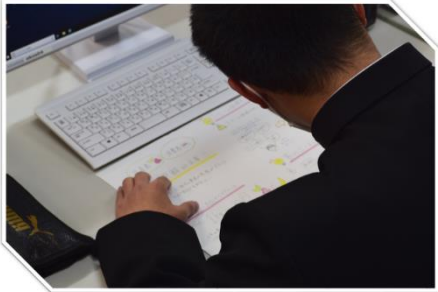

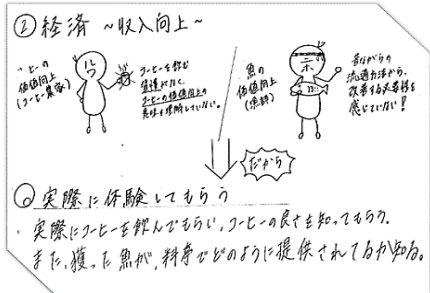
## 【実施概要】



### 【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）





グローバル社会で様々な問題が溢れている中、高校生が自ら他国（ルワンダ）を調べ、友達と情報共有し話し合うことで、視野を広げて多面的に捉え、問題発見・解決策を考える思考力を養う。そして、それらをまとめた内容を相手に伝えるように発表し、それをきいた生徒は批判的思考を持って質問を考える。

【2】 単元の評価 規準例	(ア) 関心・意欲・態度	他国（ルワンダ）に対して、自分にとっての興味・関心を探し出し、自分の意見を積極的に発信している。
	(イ) 思考・判断・表現	必要な資料は何か？グループで情報共有し、広い視野を持って多面的に捉え、その内容に対して適切な情報を判断し、問題発見・解決策を見出すことができる。また、それらを相手に伝えるようにまとめて表現することができる。
	(ウ) 技能	大きな課題を発見した時は、グループで協働し、それを小さな問題に分割したり、身近な例で考えたりしながら、グループの意見を尊重しながら、自分の主張ができる。また、それらの主張を集約し、グループの考えとしてまとめることができる。
	(エ) 知識・理解	課題発見するために集めた資料を理解し、さらに必要な資料が何かを、過去の情報や知識と結び付けることができる。

【3】 単元設定の理由	<p><b>【生徒観】</b> 生徒は大人しく真面目であるが、授業内での発言は控えめである。学びを深めて発言させる場面では、ペアワークを取り入れるなど、工夫が必要である。</p> <p><b>【教材観】</b> 本校で使用している教科書は実教出版の「高校 社会と情報」である。この教科書の第5章は問題解決であり、様々な分野と組み合わせることができる。現代では、グローバル社会で様々な問題が溢れている。高校生が自ら他国（ルワンダ）を調べることで「主体的に学ぶ態度」、広い視野を持って多面的に考えて問題発見・解決する「思考力・判断力・表現力」、そしてそれらをまとめて伝える「知識・技能」を養うきっかけとする。</p> <p><b>【指導観】</b> 教師による一方的な講義だけでは、知識・理解を深めることができない。過去に学んだ知識を問い、生徒同士で考えさせ問題の発見と解決を考えることにより、知識・理解を深めることができると考える。</p> <p><b>【設定時に想定された児童・生徒の変容】</b> (1)与えられた範囲の中で、自分の興味がある分野を探し出すことができる。 (2)探し出した情報が適切かどうかを判断できる。 (3)相手を意識して、伝える内容に情報をまとめることができる。</p>
----------------	---

【4】展開計画（全12時間）			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1・2	SDGs について	1 SDGs とは何か知ろう 2 SDGs を取り入れている学校や企業を探そう 3 身近なことと SDGs を関連付けよう 4 学んだことを A3 用紙にまとめよう  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>ポイント！</b>            SDGs が日々の生活・出来事との繋がりを意識できるようにする。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>生徒反応！</b>            SDGs がこんなにも注目されていたことに気づけなかったし、驚いた。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真・動画</li> <li>・インターネット</li> <li>・コンピュータ</li> <li>・A3用紙</li> </ul>  <p style="font-size: small;">調べた内容をA3用紙にまとめる。</p>
3・4	ルワンダについて	1 ルワンダについて知ろう 2 フォトランゲージ 3 ルワンダでの ICT 発展 4 ジェノサイド  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>目標！</b>            ルワンダのジェノサイドと経済発展の関係性に気づき、日本と違い何が違いのか考えよう。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>生徒反応！</b>            アフリカの貧しい印象が変わった。ジェノサイドは信じられない事だけど、その後の救しも信じられない。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真・動画</li> <li>・インターネット</li> <li>・コンピュータ</li> <li>・A3用紙</li> <li>・ルワンダで入手した服・教科書・お土産等</li> </ul>  <p style="font-size: small;">調べた内容をA3用紙にまとめた資料の1部分</p>
5・6	ルワンダと日本の繋がりを探す	1 ルワンダと日本の繋がりに共通点を探そう 2 繋がりに共通点をペアで共有しよう 3 ルワンダの ICT 発展と神戸市との関係  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>目標！</b>            ルワンダと日本はどのような繋がりがあのかを探してみよう。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>生徒反応！</b>            以前みたテレビのロケ地がルワンダと知って驚いた。ロケ地がどこなのか気にしていたことに気づいた。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真・動画</li> <li>・インターネット</li> <li>・コンピュータ</li> <li>・A3用紙</li> </ul>  <p style="font-size: small;">調べた内容をA3用紙にまとめた資料の1部分</p>

<p>7~10</p>	<p>プレゼン資料の作成</p>	<p>1 タイトルを考えよう 2 シンキングツールを活用しよう 3 情報共有し、ブラッシュアップしよう</p> <div data-bbox="544 322 995 495" style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>目標！</b></p> <p>フレストでアイデア出し、シンキングツールで整理、そして全体共有。これを何回も繰り返そう！</p> </div> <div data-bbox="544 506 995 678" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>生徒反応！</b></p> <p>考えるのは難しいけど、友達のアイデアから多くのヒントを得ることができた。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット</li> <li>・コンピュータ</li> <li>・シンキングツール</li> </ul> <div data-bbox="1011 344 1437 629" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">  </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ブレインストーミングでアイデアを出し合う</p>
<p>11・12 本時</p>	<p>プレゼン発表</p>	<p>1 プレゼン発表 2 質疑応答</p> <div data-bbox="544 835 995 1008" style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>ポイント！</b></p> <p>それぞれの班が考え抜いた「課題発見・解決」とその理由を理解して、質問内容を考えよう！</p> </div> <div data-bbox="544 1019 995 1191" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>生徒反応！</b></p> <p>それぞれが違った課題を見つけ、解決策までしっかり考えられていてすごいと思った。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真</li> <li>・コンピュータ</li> <li>・ワークシート</li> </ul> <div data-bbox="1011 891 1437 1126" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">  </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">発表の様子</p>

【5】本時の展開			
過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
2分 導入	本時のねらいと進行手順について説明する。		
30分 展開	プレゼン発表 ワークシート記入	生徒の発表に支障が出ないように、PCトラブルに備え、すぐに対応できるように準備しておく。	 <p>プレゼン発表直前、本時の目的を再確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真</li> <li>・コンピュータ</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
4分	感想をペア・班で共有 質疑・感想内容を班別で協議	机間支援で各グループの状況を把握する。	 <p>ジェノサイドについて生徒が説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>
6分	質疑応答	質疑応答の内容を、ささいなことでも褒め、次も質疑応答がしやすくなるように雰囲気をつくる。	 <p>感想シートを班で共有し、質問を考える</p>
(8分) まとめ	まとめ 振り返り	学んだことを応用すれば、それが他教科や社会人としても生かせる技能となることに気づかせる。	 <p>質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真</li> </ul>

【6】本時の振り返り

発表内容は、ただ調べたことをまとめて発表するだけにならないよう、「課題発見・解決」をメインにした発表をさせた。それぞれがルワンダを調べた結果、疑問に思った「急激な発展」や「ジェノサイドと赦し」などから課題発見し、自ら解決策を考え発表することができた。また、質疑応答でも生徒は批判的思考をもとに質問・感想を述べることができた。

当初、生徒はグループワークとなると消極的になりやすかった。そのため、普段からグループで取り組む大切さや、話しやすいような雰囲気づくり、そして協同学習しやすいように、ブレインストーミングやシンキングツールを活用した。徐々に生徒達が主体的に協力して学び始めた。お互いがブラッシュアップすることで考えた内容の質が向上するだけでなく、クラスで自分の意見を言いやすい雰囲気のでき、本時の授業が生徒主体で進めても、実りある時間となった。

【7】単元を通した児童生徒の反応/変化

生徒が作成したスライドから抜粋

**気付きからの自身の変容**

「世界の果てまでイッテQ!」を見たことがあるが、国まで意識していなかった。普段から他国に対する意識を持つことでテレビも違った見方ができることに気づいた。

意識していると、名前も知らなかったルワンダも調べていくうちに興味を持てるようになった。何らかの関わりがあっても人は意識しないことには興味関心など生まれないことがわかった。

**調査からの気付き・自己分析**

調べると自分の都合の良い「ルワンダは豊か」という情報ばかり調べがちになった。確かに想像以上に豊かであったが、それは一部のルワンダ人で「豊か・貧しい」の2択では表現できない国だった。もっと多面的に深く理解をしなければならないと感じた。

生徒自身がルワンダについて主体的に学ぶことで、最初はルワンダをイメージすることができず、アフリカ大陸にあるから貧しいだろうという先入観を持っている生徒たちが、徐々にルワンダの実態を適切に理解していった。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】

もともと海外には興味がある生徒が多かったが、主体的に海外を学ぶ機会はなかった。しかし、今回の単元を通し、自主的に調べる機会が増えた。その結果、「アフリカの印象が変わった」「将来、海外と関わる仕事がしたい」「途上国で勉強を教えたい」など、生徒の意識が変わったことでキャリア教育としての進路選択の幅も変化していった。ある生徒の感想では

『僕たちはルワンダについて調べるにつれて僕たちの中に眠っていたルワンダへの好奇心が暴れだしそうになる感覚をおぼえ、グループ一同驚いています。授業の中で扱った、ただ1つの国にここまで気持ちが奪われるなんて思ってもみませんでした。気付いた時には頭の中は常にルワンダのことを考え、将来はルワンダと密接に関係した職業に就きたいと思います。素晴らしい国に出会えてよかったです。』

と書いていた。この感動・衝撃の積み重ねが新しい分野にも果敢に挑戦、主体的に学ぶための資質と成り得ると感じた。

【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】

(授業前)

自身が持っているアフリカに対するイメージと重ね、ルワンダは「貧しい・動物が多い・ジャングル・たくさん餓死している・子どもは学校に行けない」など、間違ったイメージを持っていた。先入観があることもそうだが、イメージ自体が表面的な部分でしか見ていないようなことしか言えなかった。



(授業後)

ルワンダに対して、どういった国かプレゼン発表できるくらい説明する力がついたらともに、多面的にルワンダという国を考えることができた。たとえば、貧困・裕福では説明できない現状や、ジェノサイドの加害者への赦した被害者の気持ちなど複雑な内容ではあったが、主体的に調べて自分で考えて得られた理解だからこそ、自分の言葉でプレゼン発表ができた。

## 【8】自己評価

1. 苦労した点	<p>1 ジェノサイドについて</p> <p>ルワンダという国の複雑さを生徒たちに理解させることに苦労した。特にジェノサイドと赦しの説明では加害者を赦す被害者の気持ち、和解村で加害者と被害者が共に暮らすなど、日本では考えられないことであった。</p> <p>2 思考力について</p> <p>今まで、プレゼン発表は「社会と情報 第5章 問題解決」で実施していた。題材はルワンダではないが、生徒が完成したスライドは教師が求めていたものとはかけ離れていることも少なくはなかった。やはり、生徒に丸投げしても何もよいアイデアはでてこない。発展途上のスライドの多くは、ストーリー性がなく何が言いたいのかわからず、ただ調べたことをまとめただけで、グループの考えがないスライドも多かった。</p>
2. 改善点	<p>1 ジェノサイドについて</p> <p>様々な価値観・文化を否定してはいけないという意識を持たせた。確かに日本人として理解できないことがあるかもしれないが、逆に日本文化も海外では受け入れがたいものもあると伝え、それぞれを否定しては何も生まれない、受け入れる必要はないが、その価値観・文化は尊重しなければ、そこから学ぶことが何もなくなってしまふ。そういったスタンスで生徒は自分たちで集めた情報をかみ砕いて理解していった。</p> <p>2 思考力について</p> <p>今回の実践では「シンキングツール」「共有」「繰り返し」の3点を新たに加えた。流れは</p> <p>(1)ブレインストーミングや議論でたくさんのアイデアを出す。</p> <p>(2)出たアイデアをシンキングツールで整理・整頓し、結論・主張を導く。</p> <p>(3)全体に共有する。</p> <p>(4)全体の中で優秀な結論・主張を受け入れ、自分たちと比較・融合する。</p> <p>(5)(1)～(4)を繰り返す。</p> <p>以上を踏まえて、思考してブラッシュアップする機会をたくさん設けた。</p>
3. 成果が出た点	<p>成果は「ルワンダの発展を知り、ジェノサイドと赦しの複雑さを学ぶ」「協同作業の経験」「シンキングツールによる思考の整理」「課題発見」「解決策発見」の5つである。特に、身近でないルワンダという国を題材にしたにも関わらず、課題を発見して解決策を考えられたことは貴重な成果だ。なぜなら、これからの社会はグローバル社会による多様性の増加、ITやAIの普及による激しい変化が予想できる。そういった社会で、今回のような経験を生かすことができると考えている。</p>

4. 備考	<p>次年度に向けた課題：特に改善が必要だったグループの共通点が「協同作成に対するモチベーションの低下」である。教員側で雰囲気を整えていたが、グループ活動に消極的になる生徒がいるグループでは、徐々に誰かがやってくれるだろうという雰囲気が広がり、グループ作成でありながら、代表の1人がほぼすべて作成してしまう単独作成になっていた。</p> <p>改善策として、共同作成の進捗状況に合わせ、メンバーの役割を変更したり、メンバーの一部を別のグループと入れ替えたりするなど、流動性や刺激を与える工夫をしたいと考えている。</p>
-------	--

## 参考資料：

## 参考文献

1. 株式会社アンド(2019), 思考法図鑑 ひらめきを生む問題解決・アイデア発想のアプローチ 60, 翔泳社
2. 黒上 晴夫(2019), シンキングツールを学ぶ, 株式会社 LoiLo
3. 前田鎌利(2019), プレゼン資料のデザイン図鑑, ダイヤモンド社

## 参考 URL

1. JICA 広報誌「mundi」 2019 年 2 月号「国の未来を担う金の卵が続々誕生！ ルワンダ」  
<https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1902/ku57pq00002hx17o-att/04.pdf>
2. 外務省 ルワンダ共和国  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/rwanda/index.html>
3. シンキングツール®～考えることを教えたい～（短縮版）  
[http://ks-lab.net/haruo/thinking\\_tool/short.pdf](http://ks-lab.net/haruo/thinking_tool/short.pdf)
4. 公益財団法人 愛知県国際交流協会  
国際理解教育教材：世界の国を知る・世界の国から学ぶ 「わたしたちの地球と未来」  
<http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/PDF/H21/Rwanda.pdf>